



パリオリンピックが終了し、ウズベキスタンは計13個のメダルを獲得しました。うち、金を8個獲得し、世界の金メダルランキングは13位です。某経済研究所によると「経済力とメダル数」の相関関係が認められるようですので、経済成長が大いに期待できる市場といえるのではないのでしょうか。さて、今回素晴らしい弁護士の穴戸先生をゲスト講師としてお迎えして、「最新法務事情」、「ブルーオーシャン市場」と題して講演します。オンライン（ZOOM）にて講演を開催します。

9月28日 (土)	15時30分～16時30分 (前半) (講演および質疑応答含む)	16時30分～17時00分 (後半) (講演および質疑応答含む)
講演者	瓜生・糸賀法律事務所 穴戸一樹氏	協会副会長 重松 和英
講演 テーマ	ウズベキスタンの最新法務事情 (中央アジア諸国との比較)	ウズベキスタンは、ブルーオーシャン市場なのか？
講演概要	最近、ウズベキスタンではWTO加盟や更なる経済発展に向け、様々な分野での制度改革が相次いでいます。法制度やその動向について、タシケント事務所の知見も踏まえつつ、他の中央アジア諸国と比較しながらお話し頂きます。	様々な最新情報からウズベキスタン市場の成長性、可能性を検証します。さらに、ブルーオーシャン市場、すなわち先行者利益市場と言えるのかについても検証します。

会費：1,000円 (非会員 1,500円)

【講師紹介】

弁護士・弁理士 穴戸一樹氏 (弁護士法人 瓜生・糸賀法律事務所パートナー)

1977年岩手県宮古市生まれ。東京大学法学部を卒業後、2000年に弁護士登録（司法修習第53期）。日本国内外で事業を展開する製造業企業をはじめとして、流通業・販売業・建設業・鉄道事業・情報通信業等の幅広いクライアントを代理し、国内外におけるM&A、危機管理、訴訟・仲裁、クロスボーダー案件（越境取引、現地法人のガバナンス対応、現地法規制対応）や、グローバル・コンプライアンス案件（輸出管理、経済制裁及び対抗措置対応、データ・プライバシー規制、海外独占禁止法対応を含む）を特に多く取り扱う。所属事務所のウズベキスタンにおける拠点であるタシケント事務所の担当パートナー。

重松和英 (NPO 日本ウズベキスタン協会副会長)

大学在学中にモスクワ大学文学部へ留学。大学卒業後、大手商社にてロシア・CIS担当。その後、ベンチャー企業副社長を経て国際物流会社に入社。定年後ジェトロ（日本貿易振興機構）でアドバイザーとして勤務後独立。現在ロシア中央アジア貿易アドバイザーとして、ネットワークを活かし現地ビジネス、新規事業を手がける。他 弁護士法人イノベンティア・シニアコンサルタント（貿易顧問）NPO 日ロ交流協会常任理事など・・・駐在歴はロシア（モスクワ、サンクトペテルブルク）、ウズベキスタン（タシケント）。多摩大学大学院経営学修士 MBA 取得。

申し込みは、9月25日（水）までに日本ウズベキスタン協会事務局 (jp-uzbeku@nifty.com) に会員、一般の区別を記載の上メールで申し込みの後、お振込み下さい。口座名：日本ウズベキスタン協会 三井住友銀行 日比谷支店 普通 No.7012697
お振込確認後 申込された方にメールにて ZOOM の URL とパスワード情報を送付いたします。